

(6) 2016年(平成28年) 2月18日(木曜日)

人生は、長いようで短いです。最近、妻と二人暮らしになりました。子供たちがみな巣立ったので、新婚時代に戻ったようです。「愛しているよ。大好きだよ。一緒にいられて嬉しいよ」と私は妻に毎日言います。妻も同じ言葉を返してくれます。そんな二人でいられることを感謝しています。

結婚は育てるもの。結婚34年が過ぎて、つくづくそう思います。良い結婚をしたいなら互いに相手を思いやる必要がありますね。多く

の人は、不幸な結婚を相手のせいにしてしまいます。植物を育てるために水や栄養や光が必要のように、愛を伝え、具体的に

も完全ではありません。ならば、相手を傷つけます。結婚は壊れ物で、ひびが入ったり、割れたりする器のようですが、必ず修復できます。「ごめんなさい」と心を込めて言うなら、それはひび割れを修復する補修材の役目です。「ありがとう」と言ったり、「あなたが大好きです」と言うなら、それはきれいな塗料になります。いくつになってもやり直しを続けるなら、二人は一つの器になり美しく輝くようになります。

南加キリスト教会教会連合

育てて、やり直す

平湯 晴彦

に助け、不誠実な行動をとらず、二人でいることを喜ぶなど、相手に愛を注ぐことが大事です。結婚前にデートした

笑顔の理由だったのです。結婚はやり直すもの。自分是不完全です。配偶者

「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがた

は互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」(ヨハネ13:34)

互いに愛し合うことの大切さを主イエスは教えてくれました。愛を教えただけでなく、私たちの罪をゆるすために主イエスは十字架で自分の命を捨ててくださいました。

主イエスの愛。それが、愛し合う夫婦になるための本当の原動力です。

(オレンジコーストフリーメンジスト教会牧師)